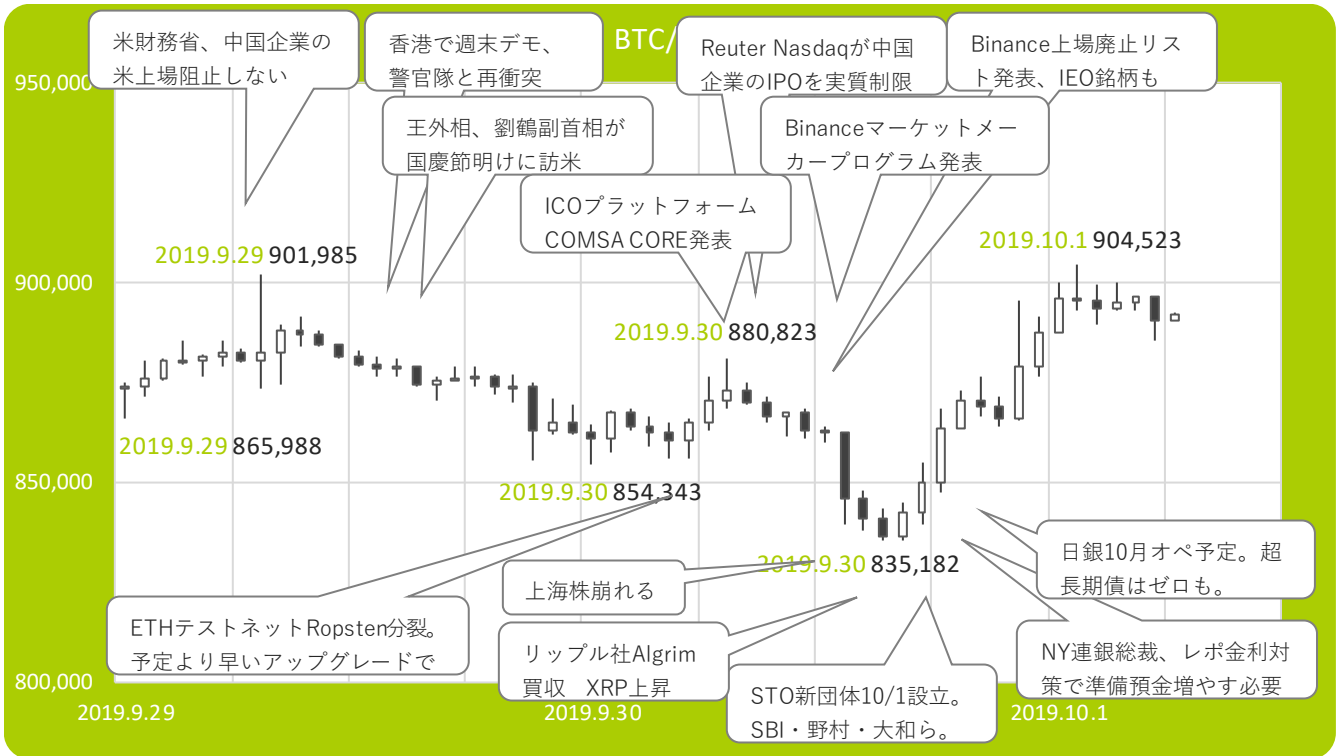


【ビットコイン相場は小反発。更なる上値追いに必要な材料】



通貨	BTC	ETH	XRP	BCH	LTC
価格	890,524	19,186	27.5	24,589	6,009
前日比	+3.0%	+4.6%	+5.6%	+3.9%	+3.1%

Review

アルト主導の反発

昨日のBTC相場は小反発。前回安値となる83万円台をトライも抜けきれずにいると、アルトコインの上昇もありショートカバー気味に値を戻した。先週末のオプション期日やCMEのSQを終え、ホワイトハウスの対中証券投資制限検討の報に上昇するも、米財務省が中国企業の米上場阻止しないとし、また劉鶴副首相の訪米報道もあり、BTC相場は上値を重くしていた。そうした中、Binanceが上場廃止リストを発表、IEO銘柄も入っていたことも嫌気され前回安値とほぼ同水準となる83.5万円まで値を下げた。しかし、リップル社がアイスランドのAlgrimを買収したことを好感してXRPが上昇、先週のICO自主規制に続き、ICOプラットフォームやSTO団体設立が発表されたETHも続くとBTCも反発を始め90万円台に値を戻した。ロイターがNasdaqが中国企業上場を規制しているとした事、引けにかけて上海株が値を下げた事も影響したか。

Outlook

正念場

本日のBTC相場は底値を固める展開を予想する。昨日はアルトコイン主導で反発を見せたが、戻りの勢いは弱い。ただ、先月半ばからアルトコインを中心に若干出来高が戻りつつあり期待はできる。対中投資の制限や米大統領の弾劾といった新たな買い材料が浮上しつつある一方で、目立った売り材料は見当たらない。香港では国慶節に合わせて不許可のデモが予定、英ジョンソン首相は24時間以内に最終的離脱プランを発表するとしている。世界はまだ不安定で、BTC買い材料には事欠かない。

著作権表示©2019 FXcoin 株式会社

本レポートは一般的な情報提供を目的に作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。レポート内のいかなる情報又は意見も、仮想通貨の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではありません。本レポートは予告なしに内容が変更されることがあります。本レポートは著作物であり、著作権法により保護されております。当社の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家へ配布することはできません。